



## コーディネーターニュース

第3ゾーン  
ロータリーコーディネーター

### 安満 良明

(加治木RC)

私たちロータリーコーディネーターの使命は地区とクラブの支援です。具体的には各地区のPETSや地区研修・協議会また各クラブの要請に応じて講演などすることです。

講演の主な内容は、クラブや地区の戦略計画の立案と推進の勧めです。戦略計画の言葉は日本のロータリーに馴染まないとして、原語の英語 (Strategic Plan) を長期計画と訳されていましたが戦略計画と元に戻しました。この戦略計画を立案するのに大切なことは、クラブでは直前会長、現会長、会長エレクトで、地区では直前ガバナー、現ガバナー、ガバナーエレクトの三者の連携です。

ロータリーの役員は単年度制ですが、その欠点を補うために連携が必要となりました。会長経験者が経験を通じて自クラブの長所短所を分析し伝える事が始まりです。この分析を間違えるとクラブも地区も方向を見失います。

また、現状に満足していても同じことです。必ず長所短所はあるはずで、この三者の連携を中心に、クラブと地区の戦略計画委員会が生まれます。戦略計画委員会は現状の分析を基にして、クラブや地区の未来の姿を想定し目標として、三年後・五年後の計画を立てます。この計画をクラブ協議会などで会員全員と共有しなければなりません。戦略計画を具体的に言いますと。

第1に会員基盤の充実です。会員基盤はロータリー活動の基本で、会員の増強と維持は欠かせません。増強と維持がバランスよく奉仕されなければなりません。会員の増強は上から目線で、理事会で承認されたから入れてやると考えていませんか。友達を増やそうと考えてください。増強だけに力を入れて新会員の退会が増えると、ロータリーの良さが解らず悪い面だけ世間に伝わることとなります。会員の維持は

例会の大切さを再認識することが大切です。

さらに若い会員は行動を求めてきます。また、先輩会員にも活動の場は必要です。

第2に地域や世界で困っている人々に手を差し伸べることです。地域に対しても世界に対しても大きな視野を持ち、手を差し伸べ友達を作ることです。ポリオ撲滅は間近になりました。私たちロータリアンが世界に誇れる奉仕と思います。奉仕の行動から感謝が生まれ感動を呼びます。そこからロータリーの素晴らしさが生まれてきます。

第3に会員増強や奉仕活動を実行するには、世間にロータリーが何をしているのか知ってもらうことが必要です。すなわち公共イメージの向上です。奉仕を自慢するのではなく、真実を公表することです。世間だけでなく会員の家族や社員職員への広報も大切です。

第4に学友との協力です。ロータリー財団の留学生、青少年交換の留学生、米山記念奨学生などの卒業生、GSE/VTT経験者などの現在を掌握して、ロータリー活動全般に協力してもらうことも必要です。これらの方々はロータリーの奉仕の素晴らしさを経験した方々ですから、良い協力が得られると思います。

これらのことを視野に入れながら、細かくクラブと地区の現状を精査してください。さらに具体的に言いますと、クラブの名前は、例会日は、会費は、適正な会員数は、また現委員会は活動しているのか名前だけではないのか (CLP) など細かく検証してください。

当たり前と思っていたことが、当たり前でなくなります。そこから新しい発想が生まれてきます。そこから活力あるクラブが生まれてきます。各クラブが活性化することが、地区や国際ロータリーが活性化することです。